

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《「美星町が誰にとってもより住みやすい町にするためにできることを考え、実践する」》
- 2 単元名 『やさしさの輪を広げよう』 (全30時間=実施時期：9月～2月)
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

- ・福祉体験を通して、福祉の意味や地域の現状、高齢者や障害がある方の思いや願いを理解するとともに、自分の課題を見つけ、必要な知識・技能を身に付けることができる。
- ・地域の高齢者や障害のある方とかかわることを通して、課題解決に向け、方法を選択して情報を収集し、分かりやすくまとめたり、相手に伝えたりすることができる。
- ・課題解決に向けて主体的に、また、友達と協力し合いながら取り組み、自分にできることはないか考え、実践していくことができる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		UD・バリアフリーについて知る	校内のUD・バリアフリー探し 福祉体験(高齢者体験・車いす体験) 特別養護施設との交流	体験したことを振り返る。 発信に向けて、プレゼン作りをする。	体験したことをまとめ、発表する。
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	福祉の意味や地域の現状、高齢者や障害がある方の思いや願いについて考え、課題をもつ。	校内のUD・バリアフリーを探し、その意図や使い方について調べる。	○○○○	これからよりよい町づくりしていくために自分たちにできることを考え、実践する。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)	○○○○	福祉体験を通して、高齢者や障害のある方が困っていることや苦労していることを体験し、理解する。	自分たちが学んだことが分かりやすく伝えられるように、情報を取捨選択してプレゼンテーション資料を作成する。	○○○○
	まき込む力 (発信と協働)	○○○○	○○○○	○○○○	プレゼン発表(地域の方、他学年等)
仕掛け・工夫	もの	身の回りにある点字が付いているものやUD・バリアフリーの例となる写真を用意し、共通点について考える。	○○○○	○○○○	○○○○
	ひと	○○○○	社会福祉協議会の方に高齢者や障害のある方の苦労についての話を聞いたり、実際の取り組みや質問をしたりする。	○○○○	他学年または、地域の方へ発表し、交流する。
	しごと(こと)	○○○○	福祉体験を行い、高齢者や障害のある方が困っていることや苦労していることに身をもって気付く。	○○○○	○○○○
アウトプットの工夫					

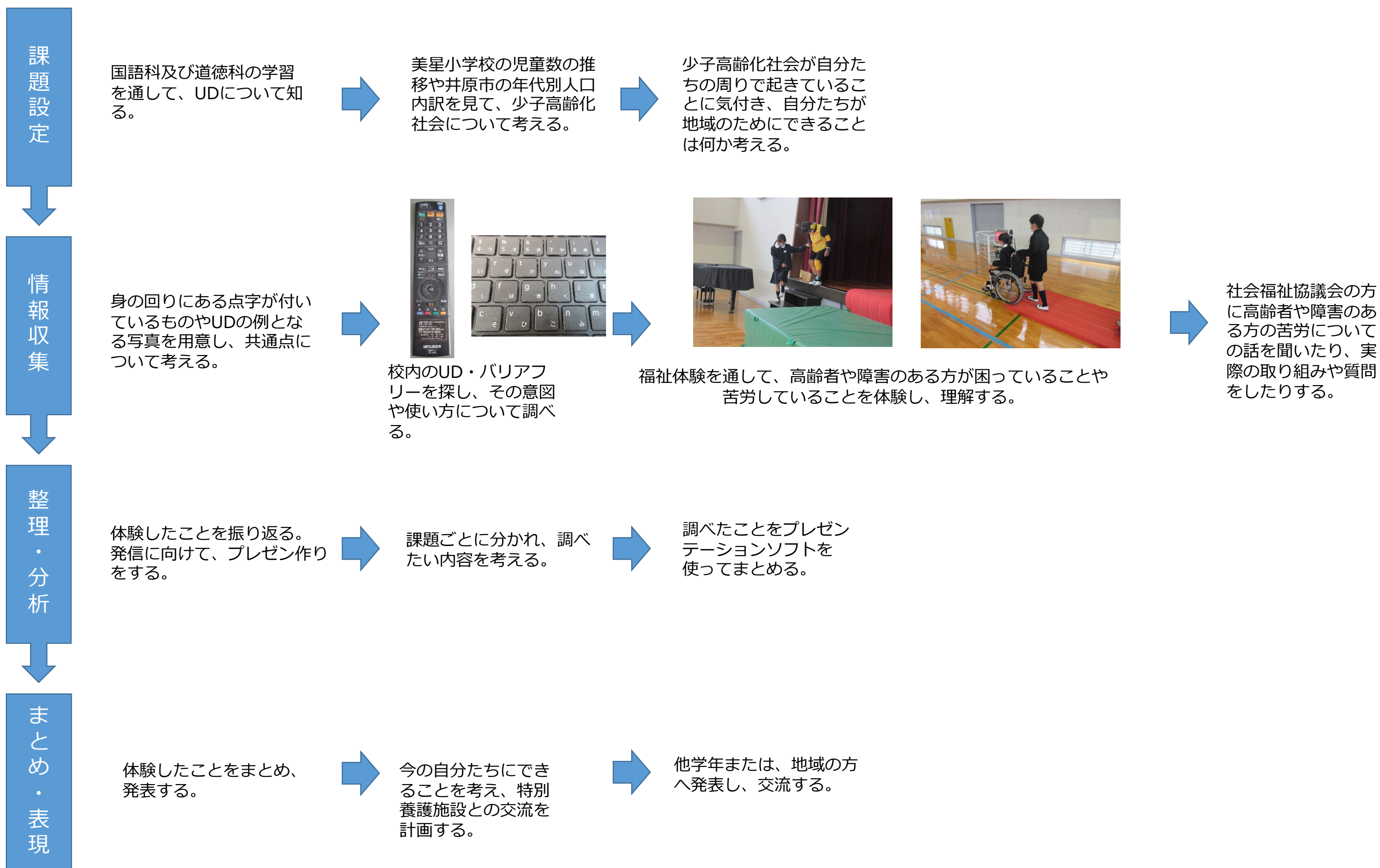
5 他教科・領域、学校行事等との関連

国語科「みんなが過ごしやすい町へ」
道徳科「UDってなんだろう」

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

「まとめ・表現」において、特別養護施設の方と交流をする。

◆単元のねらい「美星町が誰にとってもより住みやすい町にするためにできることを考え、実践する。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- それぞれが課題をもって追求していく中で、地域の少子高齢化や福祉体験を通して、高齢者の苦勞に気付くことができ、自分たちにできることはないかと自分事として考えることができた。
- 学習を通して、次は何を調べる必要があるか、自分たちが家庭や生活の中ですぐに実践できることはないか、児童が主体的に考えて活動することができた。
- △新型コロナウイルスによる感染症のため、特別養護施設との交流を直接行うことができなかった。
- △調べたいことが個々によって大きく異なったため、1グループが2名程度の活動となり、協同的な活動ができにくかった。大きな括りとして3～4名グループの構成で活動すると、より考えが深まったり、活動が活発したように思う。
- ☆実践する場を特別養護施設との交流のみで考えていたので、それ以外にも実践できる場を提供できるとよい。